

# グローバル・ブランド戦略

## 企業価値・ブランド強度向上を目的に「グローバル・ブランド戦略」を推進

ヤマハ発動機グループは、ヤマハブランドのさらなる価値向上を重要な経営課題の一つとして捉え、企業価値・ブランド強度の向上を目的とした「グローバル・ブランド戦略」を推進しています。2017年1月、本社および海外現地法人のトップマネジメントがコミットしたブランド委員会を組織し、グローバル・ブランド戦略の立案と推進、ブランド価値の測定と分析を行い、経営へのフィードバックを進めています。また、グローバルなインターナショナルブランディングの強化を目的に、創立記念日にあたる7月1日を「ブランドデー」と定めました。これは、全世界のグループ社員が自社ブランドについての理解や愛情を

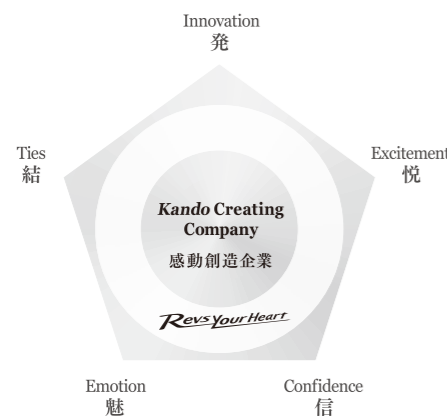
深め、製品やサービスを通じてヤマハらしさの発揮につながる活動を推奨するもので、各地の活動はグローバルブランドサイトで共有しています。2018年は、国内外の社員に向けた意識調査やブランドワークショップの実施、冊子や映像等を通じた「ヤマハらしさ」の浸透活動を展開していきます。



### “ヤマハらしさ”を5つのワードで改めて定義

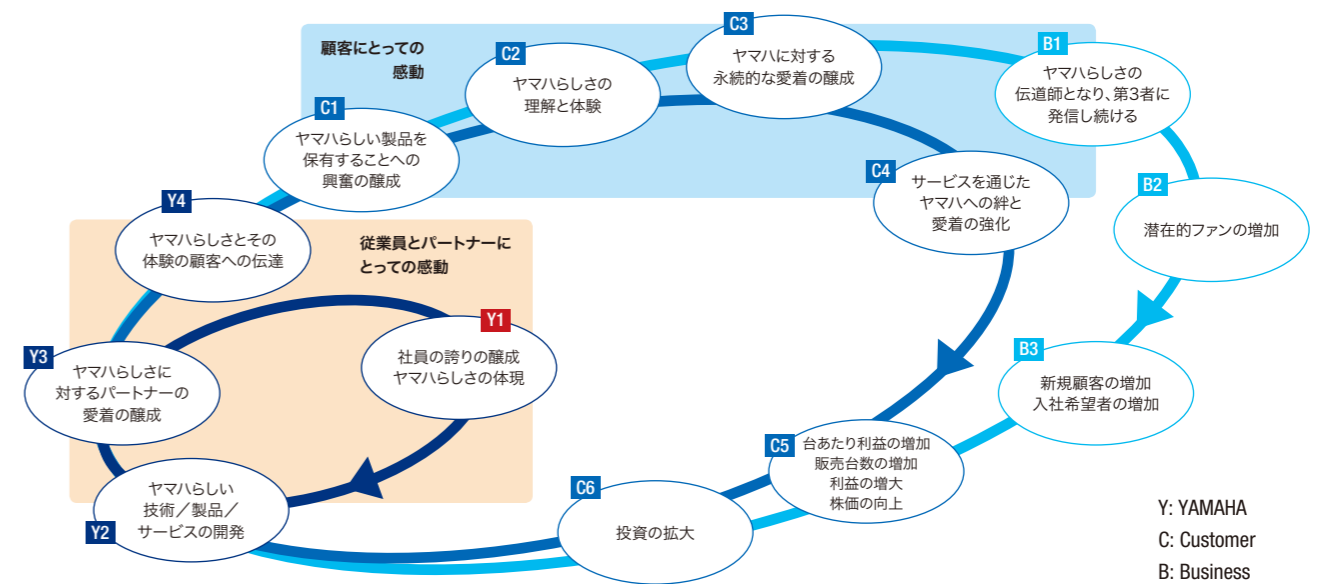
ブランド・スローガン“Revs your Heart”は、企業目的である「感動創造企業」を実現するために2013年に制定しました。“Revs”には「エンジン回転を上げる」「わくわくさせる、昂らせる」という意味があり、“Revs your Heart”とは、ヤマハがさまざまなイノベーションや商品を通じて、エンジンにパワーを与えるかのようにお客さまの心を昂らせ、感動を与えたいという意思を表しています。

そして、2017年のブランドデー制定に際し、新たに「ヤマハらしさ」を体現する5つのワード「発、悦、信、魅、結」を定義しました。企業目的、スローガン、ヤマハらしさの3つの階層をグループ全体で共有し、企業価値とブランド強度の向上に取り組んでいきます。



## 感動サイクル

- ・感動サイクルは、私たちヤマハ発動機の事業活動をブランド視点で表したものです。
- ・私たちは「感動創造企業」として、感動の輪を広げることでブランド価値と企業価値を高め、感動を生み出し続けます。



## グローバル・ブランド戦略推進例

### ベトナム

#### 社員向けブランドトレーニングを実施

ヤマハモーターベトナム (YMVN) では、2017年7月ハノイのヒルトンホテル、ホーチミンのプルマンホテルで社員向けのブランドトレーニングを実施。各イベントには約100名以上が参加し、The Unique Style of YAMAHAについて解説しました。8月からは、ハノイ各工場の約5,000名を対象に活動を広げています。



YMVNのブランドトレーニングに参加した社員

### タイ

#### 「ベストブランド・パフォーマンス2017」トップ3に入賞

タイヤマハモーター (TYM) は、Thailand Zocial Awards 2017の「オートモービル」部門で、2016年に続きベストブランド・パフォーマンス賞のトップ3に入賞しました。この賞は、社会的貢献の観点から各分野のブランドを評価するもので、連続受賞によって、持続可能な経済モデルを実現する企業として、TYMの存在が認められました。



受賞したTYMの社員



## グローバルな視野と多様性の尊重

ヤマハ発動機グループは、グローバルな視野に立ち、個人と会社が「高い志を共有し、研鑽しあい、協力しあい、喜びを分かちあう」組織体制を目指し、多様性が尊重される職場づくりを進めています。

### 多様性を生かした組織づくり

私たちは「企業活動の原点は人」という基本認識のもと、人権に対する考え方を「CSR基本方針」「倫理行動規範」の中で明示しています。その上で、持続的な成長を確保するために異なる経験、スキル、属性を反映した多様な視点や価値観が重要と考え、多様な人材の確保を目指しています。

そのために、全世界共通の幹部社員育成プログラムの開発・運用、競争力のある人材を育成・登用するためのグローバル人事制度の導入、グローバルな経験・見識を生かす組織づくりを進めています。国籍・原籍等を問わず優秀な人材の経営幹部への登用を促進し、海外子会社の経営幹部層については、2018年までに海外拠点役員クラスの60%にローカルタレントを登用することを目指しています。採用面でも、新卒総合職の一定割合に対してグローバル採用を行っています。

女性の活躍促進のためには、女性の管理職登用数を2020年までに2014年の2倍、2025年までに3倍とする目標を掲げ、活動を推進しています。

障がい者に対しては、能力と適性に応じて活躍できる場の提供と社会的自立の促進を目指し、「ヤマハモーターMIRAI株式会社」を2015年10月に設立。2016年から本格稼働し、部品包装から社屋清掃へと業務分野を広げるとともに会社見学会や社長賞（能力コンテスト）などのさまざまなイベントも実施し、社員の働きがいやモチベーションの向上を図っています。

### 多方面からの人材育成

私たちは、ますます高まる世界規模でのビジネス展開を踏まえ、これまで以上に人材開発に取り組むことが必要だと考えています。そのために、さまざまな対象に向けた人材育成プログラムを年々充実させています。

具体的には、階層に応じた研修をはじめ、機能面での専門スキルを磨く研修、世界で活躍できる人材を目指す入社4年目海外現場体験や海外トレーニー、海外大学への留学支援などの制度、チーム力を高めて組織としてのパフォーマンスを高めるコーチング研修などです。

コーチング研修は、管理職が組織のミドルマネジメントとしての機能を十分に果たしていくための有効なツールとして2016年からトライアル導入を行い、2017年から実施職場を拡大して本格的に取り組んでいます。

### 仕事と生活の両立支援

私たちは、社員と会社の相互確認を前提としたキャリアプランの設計を支援するとともに、ワークライフバランス（仕事と生活の両立）を確保した職場づくりを目指しています。

育児休職・介護休職のほか、看護休暇やフレックスタイム制度、短時間勤務制度、配偶者の海外駐在赴任帯同に伴う退職者の再雇用制度など、各自の状況に適した働き方ができるように制度の充実を図っています。施設面でも、より働きやすい環境を子育て世代の社員に提供して「仕事と家庭の両立」を広く支援するため事業所内託児施設「わいわいランド」

を運営し、2016年には増床を行って定員を増員しました。

長時間労働の削減に向けては心身の健康維持等の観点から、労使協議の上、法令よりも厳格な「時間外労働に関する規則」を設定しています。さらに、労働組合と会社の双方が参加する「労働時間に関する労使委員会」を毎月開催し、現状確認を行っています。

有給休暇の取得については、労使で目標値を設定するとともに、特に5連続有給休暇対象者にメッセージカードを送付するなどして意識づけを行い、実効性を高めています。

### 職場の安全衛生

ヤマハ発動機では、社長執行役員から権限委譲を受けた中央安全衛生委員会が中心となり、安全で健康的な労働環境の整備をグローバルに推進しています。

例えば、労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS<sup>※</sup>）に基づいてリスクアセスメントを行い、職場の潜在的な危険性や有害性を発見することで、労働災害の予防に努めています。また、安全管理者や監督者、作業主任者を対象とした能力向上のための階層別の教育・研修、安全衛生大会の開催などを通じ、職場の安全と良好な衛生環境を支える人材の育成にも注力しています。

2008年からは、主要製造拠点を対象に、OSHMSレベルに達しているかどうかを本社が審査してグループ認証を与える仕組みを導入し、定期的なフォローアップを行っています。

※OSHMS: Occupational Safety & Health Management System

### 社員の健康

私たちは、社員の健康の維持・増進のためにさまざまな取り組みを行っています。

例えば、法令に基づいて行う健康診断のほか、生活習慣病

のリスクを抱えた社員への継続的な保健指導、禁煙促進の動機づけなども行っています。社員の家族には、健康保険組合を通じた定期健診をはじめ、がん検診や人間ドックの受診対象者には費用を補助しています。

海外駐在予定者には、ウイルス性肝炎などの感染症や健康管理全般についての赴任前研修を実施し、出張者も含めてマラリア等風土病感染危険地域へ渡航する社員には感染予防教育と予防薬の提供を行っています。また、担当産業医による海外赴任地の医療巡回を実施し、医療レベルや駐在員の生活環境をモニタリングしています。さらに、急病など不測の事態に対応するため、民間の医療サービス事業者と契約し、相談窓口や緊急搬送サービスの提供を受けています。

また、楽しみながら健康増進を図るために、健康推進センターが中心となって「歩け歩け運動」などのイベントを開催しています。施設面でも、当社グループ社員やその家族、OBが無料で利用できる体育館が本社敷地付近にあり、フィットネスマシンを備えたトレーニングジムを敷地内に持つ職場もあります。

### TOPICS 「第1回 YAMAHA MOTOR WOMAN FORUM」を開催

2017年10月、「第1回 YAMAHA MOTOR WOMAN FORUM」が本社で開催されました。社内公募制度の中で「国内女性向け新モビリティ、および新事業提案」をテーマに活動してきたタスクチームが手がけたこのフォーラムでは、女性視点での商品開発社内事例発表、女性社外講師による講演、ワークショップが行われ盛況を博しました。

## Revs your Heartを具現化するコア技術と「人機官能」思想

ヤマハ発動機は、主力の二輪事業で培った「パワートレイン技術」、そして「車体・艇体技術」「制御技術」の3つのコア技術を組み合わせ、自動二輪、マリンエンジン、ROVや電動アシスト自転車、電動車いす、ロボティクスなど、16の個性豊かな製品・事業を展開しています。いずれの製品・事業においても、「Revs your Heart」を具現化すべく、「人機官能」という独自の開発思想が組み込まれています。

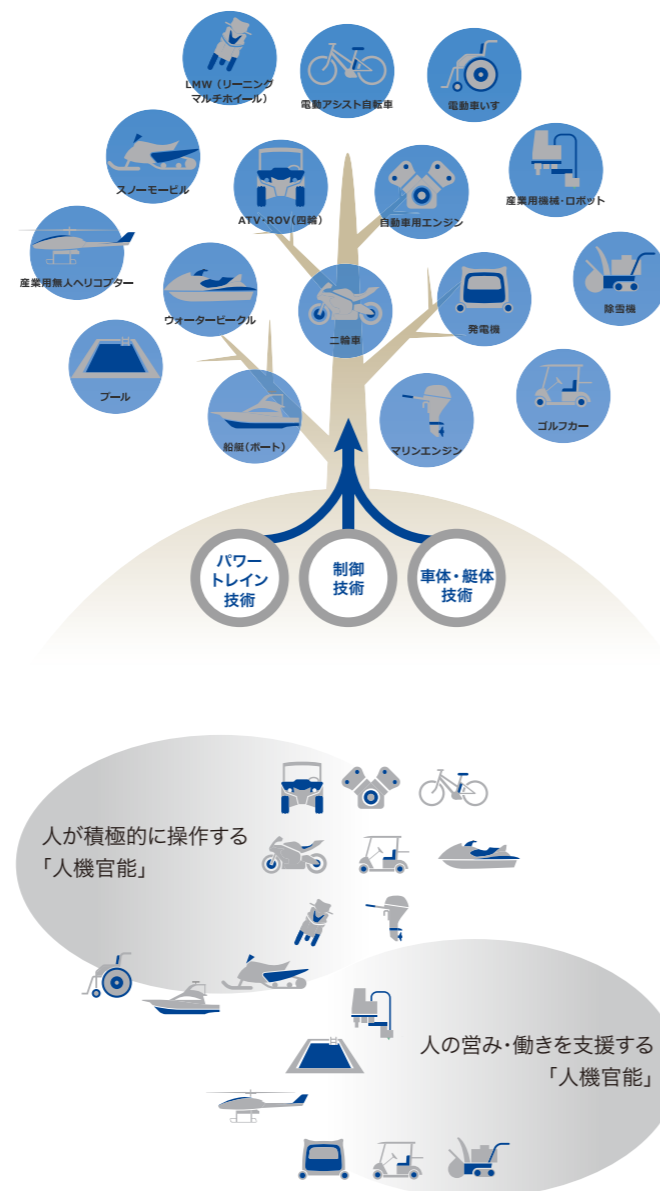
### ヤマハ発動機のコア技術

- ・パワートレイン技術
- ・車体・艇体技術
- ・制御技術

### 独自の開発思想「人機官能」

「人機官能」とは、人と機械を高次元で一体化させることにより、人の喜び・興奮を創りだす技術です。ヤマハ発動機のモノ創りの太い骨格をなすものであり、官能性能を定量化しながらつくり込み、それを製品に折り合わせていくというスタイルは、あらゆる開発現場で貫かれています。

人機官能は、人の意思や動きになじむマシン・機械の自然な応答性を実現することを可能にします。例えば、パーソナルモビリティにおいては、機械との一体性を実感できる操作性により、期待を超えるパフォーマンスを引き出すことが可能です。また、人の営み・動きを支援する場面においては、心地よく、違和感なく操作できる感動を与えます。



## 「人機官能」思想を込めたコア技術の強化・開発

より安全安心な移動の実現に向けたAI/自動運転や、気候変動対策のための電動化など、大きな変化が起き始めているパーソナルモビリティの世界において、ヤマハ発動機は、人機官能思想を込めたコア技術の強化・開発を進めています。

### 新ビジネスモデル

#### モノの所有から、コトを提供するサービス・シェアリングが拡大する中、情報・通信・IoT技術の活用を推進

#### 低速自動運転システム

自動運転の社会実証実験へゴルフカーをベースにした小型自動車を提供。長年培ったゴルフカーの電磁誘導式自動運転技術を転用、さらに自社開発の障害物検知ステレオビジョンを搭載しています。この技術は、過疎化・高齢化が進む地方において、人や環境にやさしい持続可能な交通システムとして注目されています。



### 新コンセプトモビリティ

#### パーソナルモビリティによる楽しい移動・豊かな社会の実現を目指す

[2017年東京モーターショー参考出展車]



TRITOWN



MWC-4

#### 広がるLMW<sup>®</sup>の可能性

モーターサイクルの官能を、より多くの人々が体験できるモビリティへ。リーンする小型モビリティで、モーターサイクルの醍醐味である人機一体で走る楽しさや、官能的なフィーリングと安心、社会課題への対応との両立を目指します。

※Leaning Multi Wheel (リーニング・マルチ・ホイール): モーターサイクルのようにリーン(傾斜)して旋回する3輪以上の車両の当社での総称です。